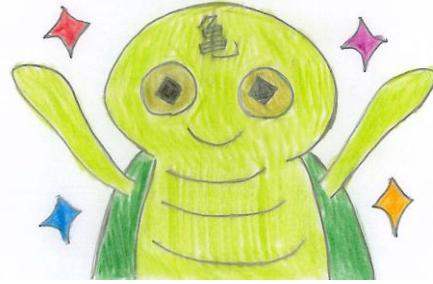


亀からの お手紙



先日行われた全校協議会では、6月26日（木）に行われるいじめ撲滅集会に先立ち、下記2点の特別議題について話し合いが行われました。

①銭中で起こりうるいじめの形について

- ・無視 ・陰口 ・放課後でのいじめ ・プライベート（SNS）
- ・見えない場所 ・金銭トラブル ・インターネット上でのいじめ
- ・言葉遣いからのいじめ ・他学年での揉め事 ・仲間外れ



②銭中生1人1人が、いじめを「しない・させない・許さない」生徒になるために必要なことについて

- ・学級での呼びかけ ・集会を何回か行う ・周りの変化に気づく ・被害者側になって考える
- ・実際にいじめにあった人に話を聞く ・周りをよく見て動く ・一人ずつ話を聞く
- ・なぜいじめをしてはいけないのかを知る ・相談できる空間にする ・ポスターを作る

これらの話し合いをもとに、各学級でいじめを「しない・させない・許さない」空気感を作るために、銭中生が日頃から意識できることについて、2点取り上げてさらに話し合いを進めました。



○友達同士で話を聞くこと

→先生と話す（なんでも相談窓口も含め）だけではなく、より親しみやすく話しやすい生徒同士の交流も大切ではないだろうか。放課後だと人がいなく、気持ちも楽になると思うので相談しやすい空間になるのではないだろうか。

○いじめ防止の啓発を呼び掛けるポスター作り

→自分の言動を見直すきっかけになるようなポスターが望ましい。①銭中で起こりうるいじめの形で上げた内容について問いかけるようなポスターで自分の生活を振り返らせることもよいのではないだろうか。

まとめ

- ・**相手を傷つける行為は人として絶対に許されない。銭亀沢中学校全体として許してはいけない。**
- ・銭中生1人1人がいじめを「しない・させない・許さない」意識を持つためには、いじめによって作り出される空気感や周りへの影響、される側の気持ちを理解し、銭中生1人1人が周りにいじめを起こさせないように友達の変化に気づこうとする姿勢が大切である。
- ・また、される側の人にとって、先生だけでなく**気の許せる友達に相談できることやポスターによるいじめ防止の啓発**は1つの助けになる。
- ・発言や行動の1つ1つを意識することで、人との接し方は大きく変わる。日頃から自分の言葉遣いやふるまいを気にしつつ、相手の表情や反応を見ながら、友達と関わる姿勢が必要である。

